

令和5年10月号

算数・数学チャレンジクラブだより



たくさん食べて脳を活性化し、多面的にカンガエル!!

(公財) 金沢子ども科学財団

〒920-0865金沢市長町3丁目3番3号
Tel076(221)2061 Fax076(221)2062
e-mail kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jp

季節は実り多い秋になりますね。秋の澄んだ高い空のように、大きな目標を高く持って算数する心・数学する心を育みましょう。充実の秋・成長の秋になることを期待しています。

今後の予定表

講座の予定 (通常の講座時間は 10:00~11:45)

月	小学5年生	小学6年生	中学生	オリンピック支援
10月	10月28日(土) A組 アルゴゲーム B組 ジャマイカ	10月7日(土) パズル&謎解き	10月1日(日) 中1 グラフアート入門 中2 一刀切り 中3 オイラーの公式	10月8日(日)
11月	11月12日(日) 13:30~第1回思考力検定(3階学習室1、2&3) 検定申込者のみ受検 今回より欠席による受検料の返還はしません 受付: 13時~13時15分 説明・諸注意: 13時20分~ 検定開始: 13時30分 (終了時間は受検級による)			
			11月12日(日) 中1 お年玉獲得大作戦 中2 二次元方程式 中3 ソファ問題 11月19日(日) 中3のみ お楽しみ	11月5日(日)
12月	12月16日(土) A組 立体4目並べ B組 アルゴゲーム	12月2日(土) 面積迷路 12月9日(土) 自分レートな単位づくり	12月10日(日) 中学生全体特別講座	12月3日(日)

お知らせ・お願い

算数オリンピックファイナル大会進出&トライアル大会奨励賞受賞 おめでとうございます!

6月11日に行われた「算数オリンピックトライアル大会」の結果、5年生のクラブ員1名がジュニア算数オリンピック部門でファイナル大会に進出しました。また、惜しくもファイナル大会の進出は叶いませんでしたが、6年生のクラブ員1名と中学2年生のクラブ員1名が、算数オリンピック部門とジュニア広中杯部門でそれぞれ石川県1位の成績を収め、奨励賞を受賞しました。(左から小学6年生 中学2年生 小学5年生→)



思考力検定の返金は今回からしません

出版社の方針で、受検希望者が急に欠席になっても、後日問題をお渡しすることで、受検料の返金はないということになりましたので、ご了承ください。

来年度の継続調査メールの返信をお願いします

来年度の【継続調査】を実施します。10月2日にチャレンジクラブの継続意向のメール（詳細は9月号のお便り参照）が届きます。家族で相談されて10月17日までにお返事をお願いします。

夏休み中の講座の様子

8月19日（土）5年生の「4色問題」の講座では、なるべく少ない本数の色鉛筆でぬり絵をしました。小山先生が石川県の市町村などに、色を塗るよう指示を出しました。一番少なくても4色でどれも濡れました。ただの色塗りではなく、170年も前からどんな地図でも4色で塗れることを証明しようと努力した人がいることを知り感心する5年生でした。そして、難問にも挑みましたが、幾何学模様のピラミッドは難解で、何回トライしても途中で破綻して、心が折れそうになっているクラブ員がたくさんいました。

（左がぬれない結果に終わり、右に再度挑戦する様子→）



8月20日（日）、この日中学3年生担当の先生のお体の不調で、急遽ピンチヒッターの先生が来てくれました。突然の事態や、悪天候等により、急に講座を中止することもあり得ます。そんな時は、中止メールを配信し、館前に看板を出しますので、ご注意くださいようお願いいたします。

戸田先生は、「王様は3人の王子に、国を等しく分けよと言った」という設定を出しました。図形の問題を領土として捉えさせ、「等分できないと兄弟げんかになってしまおう！」の一言でクラブ員の心を一気に引き付けていました。

（計算や作図で等積変形に取り組むクラブ員→）



同じ日に中学2年生の『まます立て問題』の講座がありました。これは、前妻の子ども19人と、後妻の子1人を輪にして座らせ1個飛ばしで順に一人ずつ抜いていき、最後に残った一人が王様の全財産を継ぐというデスゲームの問題です。後妻は、輪のスタートから9番目に我が子を座らせました。外山先生が示してくれたプレゼンでは一人ずつ王子が消えていき、最後に9番目に座っていた後妻の王子が残りました。後妻の戦略は見事成功したのです。これを【20, 2】=9 と表し、この表し方でどの数字が残るのか考える数学の講座になりました。

（一人ずつ消える王子のプレゼン→）



同じ日に中学1年生の「スプラウト」の講座がありました。スプラウトというのは新芽のことです。種から新芽が出ていく様子をゲーム化したスプラウトゲームをペアで楽しみました。そこから藤澤先生は、「ゲームに必ず勝つにはどうすればいい？」と問いかけました。今までゲームの必勝法など考えたこともなかった純粋なクラブ員は「必ず勝てるんだ！」と知ってうれしくなりました。そしてその必勝法は計算式で表せることを理解し、とても驚いていました。ゲームは立派な数学講座に変身しました。

（二人でスプラウトゲームを楽しむ様子→）

